

令和4年度第1回学校運営協議会

住 所 盛岡市羽場 18-11-1
学 校 岩手県立盛岡工業高等学校
校 長 佐々木 光 男
電 話 019-638-3141

1 会議の名称

令和4年度第1回学校運営協議会

2 会議の日時

令和4年5月26日（木）13:00～14:30

3 会議の場所

盛岡工業高等学校 百年館

4 出席者の氏名

清 水 健 司 岩手県立産業技術短期大学校 校長
浅 沼 清 一 エスペロの会 会長 [JA岩手中央代表理事組合長]
池 浩 之 岩手県工業技術センター 理事
小山田 正 敏 本校同窓会 幹事
田 屋 千 穂 元本校PTA3学年委員長

佐々木 光 男 校 長
水 野 扶佐史 副校長
千 葉 靖 久 副校長
尾 形 祐 一 定時制副校長
鶴 田 和 久 事務長
阿 部 正 孝 総務主任

【欠席者】

野 田 純 孝 株式会社ミクニ盛岡事業所 所長
佐々木 秀 一 盛岡市立飯岡中学校 校長

坂 川 章 浩 教務主任

5 会議の次第

- (1) 開会
- (2) 校長挨拶
- (3) 辞令交付
- (4) 委員紹介
- (5) 学校運営協議会の設置について
- (6) 会長、副会長の選出について
- (7) 協議
 - ア 令和4年度学校経営計画及び教育活動計画
 - イ 本校の教育活動に係る意見交換
 - ウ 委員からの提言等
 - エ その他
- (8) その他
- (9) 閉会

6 会議の概要（協議内容）

(1) 校長挨拶

盛岡工業高校は明治 31 年創立で今年 125 年目を迎える。県内 12 校の工業系学科のセンタースクールとして頑張っている。コロナ禍で学校行事は中止や規模縮小となっているが、可能な限り実施している。3 年生は学校行事などで校歌をしっかりと歌えていないので、歌える機会を作ってあげたい。

少子化の影響などもあり定員割れが続いていることが問題である。

学校職員 109 名、生徒数全日制 688 名、定時制 17 名の大規模校。高校再編で令和 7 年度以降の校舎移転が決まっている。

(2) 学校運営協議会の設置について

千葉副校長が、資料に基づいて説明。

(3) 会長、副会長の選出

小山田委員が会長に清水委員を推薦。清水委員が承諾。

清水会長が副会長に池委員を推薦。池委員が承諾。

(4) 協議（議長は清水会長が務める）

ア 令和 4 度学校経営計画及び教育活動計画

佐々木校長が資料を用いて学校経営計画について説明し、水野副校長と尾形副校長がスクールポリシーについて説明を行った。

学校経営計画要旨

- ・目指す学校像として、数値目標を掲げ組織的に取り組んでいく。
- ・少子化や定員割れの問題があるが、県の工業系高校のセンタースクールとして未来永劫的に発展することは社会的使命である。
- ・全日制の 7 学科、定時制の 1 学科で学科横断的に共通認識を持ちながら組織的に取り組む。
- ・育てたい生徒像は、主体的に考え、当事者意識を持ち、正しい倫理観と他者を思いやる健康な心身を持ち、社会に貢献する人材である。
- ・教職員には、広義の意味でのコンプライアンスを理解し、仕事に優先順位をつけ、PDCA サイクルを意識し、反省の上に行動してほしい。生徒に尊敬され、保護者や地域から信頼される教員像を期待する。
- ・盛工の旬の情報を Twitter やホームページなどで発信し、非常時にはスピード感をもって対応したい。
- ・生徒には 3 つの C（challenge、change、create）の獲得を目指して欲しい。

スクールポリシーについては資料のとおり

イ 本校の教育活動に係る意見交換

【委員】

盛岡南高校の場所に移転すると聞き、地元民としてさびしい。盛工は地域のシンボルであり、甲子園に 2 年連続で出場した時には「おらほの学校」として地元の人たちも応援に行った。地元の学校として愛着があり、小中学校の児童生徒が高校生を見ている。これまで盛工から希望を与えてもらったことがあり、定員割れはさびしい。

資格取得でクラス全員合格の新聞記事などを見た。社会に出る前に資格を取得していることに感心し、期待もしている。

地域にとっても高校生は大切な存在であり、中学校に行ってもロボットの実演をするなど、小中学校と交流することで、子ども達に夢を与えている。

青少年の健全育成のための会である「エスペロの会」に、高校からも参加をいただいて感謝している。

【学校】

盛岡南高校の校舎に移転しても、中学校への出前授業などは継続していきたい。

【委員】

工業技術センターで主に中小企業の対応をしている。中小企業だけでなく、キオクシア、TDK、SMCなども新工場の建設などにより従業員を募集している。県内企業の工業高校に対する期待は大きい。

スクールポリシーは中学生向けの内容とのことだが、企業向けのポリシーも作成してアピールしてはどうか。

【委員】

グラディエーションポリシーがあるが、企業に対してさらにアピールしてほしい。出口が良いと入学者も増えるだろう。

【委員】

盛工のホームページ、盛工かわら版、Twitterなどで学校の様子が分かり、良いと思う。情報発信を継続して学校の様子をアピールしてほしい。岩手日報や盛岡タイムスなどの新聞に記事が掲載されると、OBとしてうれしい。OBも後輩の役に立ちたいと思っている。

盛岡南の場所に移転することであるが、実習棟などが建設できる広さはあるのか、現在どの程度話が進んでいるのか教えてほしい。

【学校】

県へは現在の規模を最低条件として要望したい。校内に校舎移転の準備委員会を立ち上げ検討していく。

【学校】

今の中学生はTwitterを利用している。高校生がフォローしていれば中学生も見ると思う。学校のTwitterも見ているが、写真が多い方が見やすい。スクールポリシーのポンチ絵は中学生が対象とのことだが、写真を多く文字を少なくした方が良いと思う。

高校に入学するまで中学生は、自分が何をしたいのか分からずにいる。家族に盛工のOBがいるとか、自分のレベルに応じて学校を選んでいる。学ぶ内容も良く分からないまま入学するが、卒業し就職すると、盛工を選んだことに満足している。

盛工に入学することでどのような未来が待っているのか、卒業後は進学もあるし、手に職をつけて就職することもできる。そのような魅力を分かりやすく伝えてほしい。

【委員】

産業技術短期大学校では短大卒の資格を取れる。その後仙台などにある2年間の上級大学校に通い4年制大学卒業と同じ資格も取れる。そのようなPRを生徒の家族へ対しても行っている。

生徒の祖父母がスポンサーになっている場合がある。そういった家族へのPRも大切である。卒業後の就職先や進学先など出口のPRも大切だと感じている。

ポンチ絵や学校案内などは文字が小さくて多いと読んでもらえない。ポンチ絵は文字を少なくし、2枚目以降の説明に詳細を記入してはどうだろう。

【学校】

今年10月8、9日に盛岡の前潟イオンで「盛工匠祭」を企画している。同窓会などの協力もいただきながら、中学校などを限定せず、より多くの人に魅力を発信したい。

是非足を運んで、見に来てほしい。

【学校】

盛工生が獲得を目指す3つのCについてだが、目標を3つ言われるということにはインパクトがある。3つのCは覚えやすく忘れにくい。

ウ 委員からの提言等

【学校】

盛工の要覧を拝見したところ、R 2 年度の県内就職割合が 46%で、宮城県や関東に半数以上が出ている。県内の中小企業は今後、新規採用者を確保できない状況が続く。人手不足と材料高騰など問題が多い。工業高校の県内就職率を上げて欲しい。また、保護者や教員に地元の企業を知ってもらいたい。

【学校】

岩手県では県内就職率の目標値を 84%としている。少しでも改善していきたい。

【委員】

科による県内就職率で特徴はあるのか。

【学校】

土木、建築系の学科は、業界の P R などもあり、建設業の県内就職率はやや高い。
R 3 年度の県内就職率は 50%弱である。

【委員】

子どもが選ぶ就職先として県外が多いのか。

【学校】

生徒や親が県外を選ぶことが多い。給料を見て県外を希望する者が多い。福利厚生なども含めて企業の努力も必要かもしれない。

【委員】

工業技術センターに建設業の方が来て、建設業も県内に人材が少ないと話していた。盛工では建設業の就職率が高いようである。全体的な人手不足のようだ。
東南アジアから働きに来てもらうことも考えていかなければならない。
企業側も努力して地元人材を採用していきたい。

【学校】

県内就職率については、盛工の生徒の動向で数値が変わる。県外に出ていく現状を見ていきたい。

部活の活発さが学校の魅力の一つである。生徒の持つ力を一般の大人の方々や中学生に伝えて、魅力化を図っていきたい。

定時制では、中学校時代学校に足が向かなかった生徒も入学してきているが、入学後は欠席も少なく、資格取得などを目標に頑張っている。生徒数は少ないが必要な学び方であると強く感じている。

この 3 年間で生徒数が約 100 人減った。少子化の影響も大きいですが、中学生が高校を選ぶ理由は、家から近いことや、トイレがきれいなこと、いやな先輩がいないこと、友人と同じ学校であることなども多く、学校に快適さを求めている。新築校舎の学校には入学希望者が多いようである。学校移転が良い機会になれば良い。交通の便が悪い問題もある。

私学も授業料の無償化により入学しやすくなってきている。本校は諸会費が他校より高額である。

エ その他

特になし

【清水会長】

学校経営計画とスクールポリシーについて承認をいただきたい。

全会一致で承認

7 議決事項

- (1) 協議会会長 清水 健司
協議会副会長 池 浩之

- (2) 学校経営計画
資料のとおり承認

- (3) スクールポリシー
資料のとおり承認。ただし、ポンチ絵については文字を少なくし、分かりやすい内容に改善。

8 会議のまとめ

年間3回の運営委員会を予定しており、次回は10月ごろに各委員の都合に合わせて開催する。生徒の活動の様子も見学してもらおう。3回目は2月に実施予定である。

運営委員の皆様からいただいた御意見や御助言をもとに、本校の教育活動を更に発展させていきたい。